



基山町

議会だより

きやま

検索

No.47

～ 歩きたくなる町・きやま ～

(表紙は、皮籠石付近)

昨年のJRウォーキング 1,257人参加

今年は11月23日に開催

平成25年 第2回臨時会・第3回定例会

9月議会

賛否表、意見書等の結果	2
議案審議	4
補正予算	5
決算	6
監査委員の決算審査意見	9
常任委員会報告(総務文教、厚生産業)	10
一般質問	11
第2回臨時会、議長交際費、12月議会会期日程(案)	17
議会報告会	18
議会傍聴記、編集後記	20

平成25年11月1日発行

課税誤り、町長・副町長給料

平成25年 第2回臨時会・第3回定例会 賛否表

区 分	議 案	内 容	結 果
第23号 議案 (継続審査)	基山町空き家等の適正管理に関する条例の制定について	倒壊等の事故や、犯罪及び火災等のおそれがある空き家等に対して、環境改善に向けての指導・勧告・補助・代執行等を行う。	原案可決
		住民への周知を図るため、条例の施行を平成25年10月1日から平成26年1月1日に改める。	原案一部 修正可決
第38号 議案 (臨時会)	基山中学校パソコン教室用パソコン等の取得について	地方自治法第96条第1項第8号の規定により予定価格700万円以上の物品等の買入れは議会の議決が必要なため、平成25年7月18日公募型指名競争入札に付した基山中学校パソコン教室用パソコン等について議会の議決を求める。	原案否決
第39号 議案	町長及び副町長の給料の特例に関する条例の制定について	固定資産税の課税誤りの責任として町長は3カ月、副町長は1カ月給料10%総額288,280円を減額する。	原案可決
第40号 議案	基山町子ども・子育て会議条例の制定について	子ども・子育て支援に関する施策を調査審議するため、子ども・子育て支援法(平成24年法律第65号)第77条第1項に規定する合議制の機関を設置する。	原案可決
第41号 議案	基山町非常勤特別職の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について	非常勤特別職の報酬及び費用弁償の項目に子ども・子育て会議委員、住生活総合調査員を追加する。	原案可決
第42号 議案	基山町税条例の一部改正について	地方税法の一部を改正する法律(平成25年法律第3号)により公的年金に係る個人住民税の特別徴収の規定、及び延滞金の率が改定、また、特定公社債の利子等に係る利子所得が新たに申告分離課税の対象とされたこと、株式等に係る譲渡所得等の申告分離課税制度が上場株式分と一般株式分に改組されたこと等に伴い所要の規定の整備を行う。	原案可決
第43号 議案	基山町国民健康保険条例の一部改正について	地方税法の一部を改正する法律(平成25年法律第3号)により特定公社債の利子等に係る利子所得が新たに申告分離課税の対象とされたこと、株式等に係る譲渡所得等の申告分離課税制度が、上場株式分と一般株式分に改組されたこと等に伴い、国民健康保険税における所得割の算定における特例について所要の規定の整備を行う。	原案可決
第44号 議案	基山町国民健康保険高額療養費資金貸付条例の一部改正について	地方税法の一部を改正する法律(平成25年法律第3号)により延滞金の割合が引き下げられることに鑑み、基山町国民健康保険高額療養費資金貸付においても地方税法に準じて延滞金の割合の改定を行う。	原案可決
第45号 議案	基山町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について	地方税法の一部を改正する法律(平成25年法律第3号)により延滞金の割合が引き下げられることに鑑み、基山町後期高齢者医療保険においても地方税法に準じて延滞金の割合の改定を行う。	原案可決
第46号 議案	平成25年度基山町一般会計補正予算(第3号)	従前の予算に3億6,864万円を追加して、総額を57億8,997万円にする。	原案可決
第47号 議案	平成25年度基山町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	従前の予算に9,661万円を追加して、総額を22億9,931万円にする。	原案可決
第48号 議案	平成25年度基山町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	従前の予算に886万円を追加して、総額を1億9,859万円にする。	原案可決
第49号 議案	平成25年度基山町下水道特別会計補正予算(第3号)	従前の予算に117万円を追加して、総額を3億5,178万円にする。	原案可決
第50号 議案	平成24年度基山町一般会計歳入歳出決算の認定について	歳入：55億4,704万円、歳出：53億8,778万円 差引残額：1億5,926万円	原案認定
第51号 議案	平成24年度基山町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入：20億6,419万円、歳出：19億5,998万円 差引残額：1億421万円	原案認定
第52号 議案	平成24年度基山町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入：1億8,946万円、歳出：1億8,567万円 差引残額：378万円	原案認定
第53号 議案	平成24年度基山町下水道特別会計歳入歳出決算の認定について	歳入：3億8,796万円、歳出：3億7,564万円 差引残額：1,232万円	原案認定

防災・減災事業として町税に年間500円上乗せ

第3回定例会 議案審議

課税誤りで町長及び副町長の給料減額

問 町長及び副町長の給料の特例に関する条例とは。

答 固定資産税の課税誤りについて、町の責任者として責任を明らかにし、町長、副町長の給料削減を平成25年10月1日から平成25年12月31日まで給料月額に10分の1を乗じた額を減額するもの。

問 固定資産税の課税誤りで職員に対する指導についてどう対応するのか。

答 研修センターでの税の勉強や対応マニュアルをつくり危機管理を徹底する。

基山町子ども・子育て会議

問 条例の設置目的は。

答 子ども・子育て支援法の制定をふまえ、町が実施する子どもに関する施策のうち調査・審議する機関として設置する。

基山町税条例の一部改正

問 基山町税条例改正の中で東日本大震災の復興を図る目的として年間町税に500円上乗せ徴収されるが、町民はわからない。どう説明するのか。

答 基山町の防災・減災の施策に充てる。

開田・小林線道路改良事業

問 当初予算の計画もなく道路改良事業に着手するが、その経緯はなにか。

答 平成17年に地元の要望や平成23年に町民提案制度による要望があった。地元土地提供があり、緊急車両も通り抜けが出来ない現状を解決するため行う工事である。



▲浄水場西側から小林地区への道

商業活性化事業臨時対策補助金事業

問 商業活性化事業交付金100万円はどう使われるのか。

答 町内商店がプレミアム商品券に10%上乗せした商品券の販売をするものである。

使わなかったふるさと応援寄附基金180万円は

問 ふるさと応援寄附基金への繰戻し金180万円はなにか。

答 当初予算で購入予定の基山小学校のランドピアノについて町民から寄附があったため180万円繰り戻しをした。

基山駅前駐輪場増設は

問 駅前の混雑の緩和と安全対策のための駐輪場の新設と改修はどうなるのか。

答 新たに駅南側にJR九州から用地80㎡を借用して、自転車百台分の駐輪場を整備し、現状の北側駐輪場も改修する。

図書館等建設の概要 固まる

歳出 図書館等基本設計業務委託料 1,633万円

図書館等基本設計業務委託料は建築面積1,100㎡、鉄筋コンクリート造、地上1階建をもとに算定。業務委託料には土質調査300万円を含む。基本設計の積算は積み上げ方式計算を行っている。

一般会計の主な補正内容 3億6,864万円を追加 予算総額 57億8,997万円

歳入

- ・ 町税 法人税 3,407万円
優良法人の増加および徴収税率の見込み確定
- ・ 地方交付税 2億5,755万円
今年度分の額の確定 累計9億9,972万円
- ・ 県補助金 (民生費県補助金) 1億1,357万円
たんぼぼ保育園改修に伴う安心子ども基金
- ・ 県補助金 (農林水産業費県補助金) 150万円
45歳以下の新規就農者補助事業。年間150万円。
- ・ 基金繰入金 (公共施設整備基金) △2億1,700万円
繰越金決定による財源調整
- ・ 基金繰入金 (ふるさと応援寄附基金) △192万円
基山小学校ピアノを町民から寄付があり基金への繰り戻し
- ・ 繰越金 1億3,340万円
平成24年度決算の確定による額の決定

歳出

- ・ 総務一般管理費 28万円
再度の課税誤りのため、町長・副町長の給料を減額。町長22万6千円、副町長6万1千円
- ・ 基山駅前自転車駐輪場増設設計業務委託料 300万円
駅前の混雑緩和と安全対策のため、新たに駅前南側に自転車100台分の駐輪場を借用する
- ・ 役場別館備品購入費 784万円
来年度から福祉関連施設の開設に備え家具類650万円電化製品130万円を購入
- ・ 保育所緊急整備事業補助金 1億7,036万円
たんぼぼ保育園の改築を佐賀県安心子ども基金を活用し、定数100名から140名に対する補助
- ・ 商業活性化事業臨時対策補助金ほか 120万円
町内商店街活性化支援のためのプレミアム商品券発行ほか、モール商店街LED化事業に対する補助
- ・ 開田・小林線道路改良工事ほか 4,356万円
東部水道企業団浄水場西側から小林地区への道路改良費及び設計業務委託料

国民健康保険 特別会計 補正予算

9,661万円を追加 (第3号)

予算総額 22億9,931万円

歳入の主な内容

- 被保険者保険税の額の確定
- 高額医療費への交付金
- 収納率が高い自治体への交付金 ほか

歳出の主な内容

- 保険療養給付費負担金の増加 ほか

後期高齢者医療 特別会計 補正予算

886万円を追加 (第1号)

予算総額 1億9,859万円

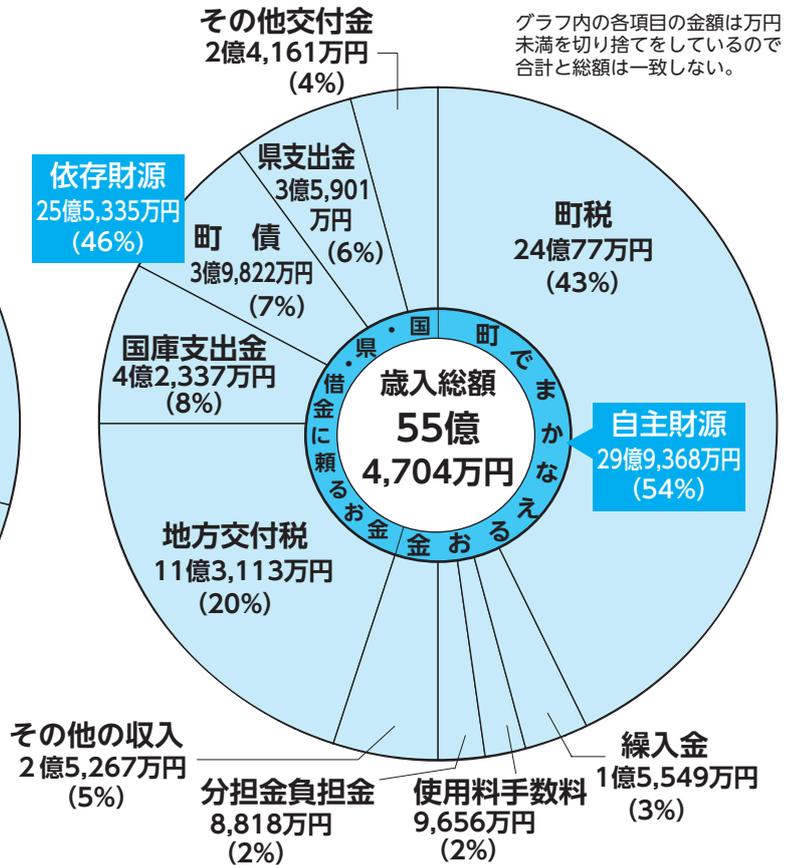
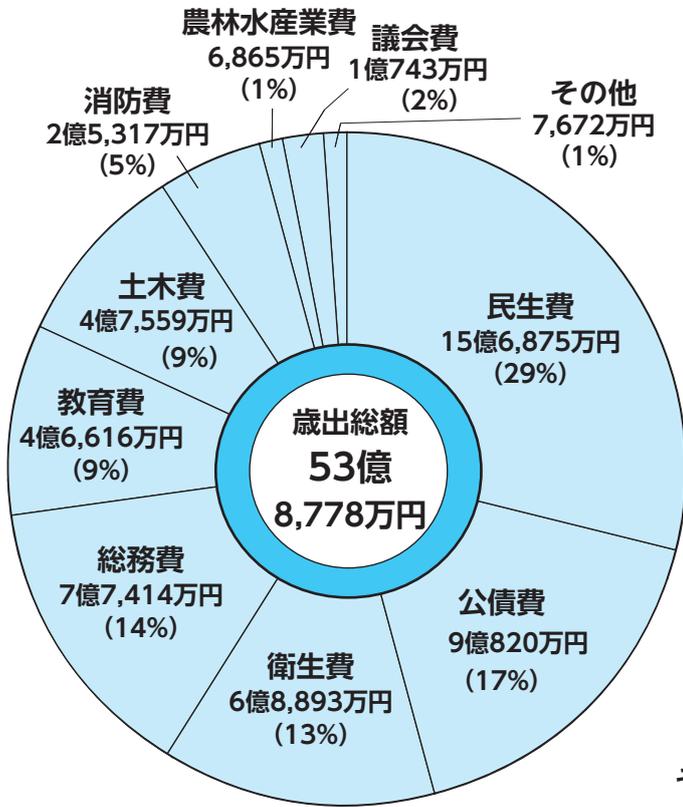
下水道 特別会計 補正予算

117万円を追加 (第3号)

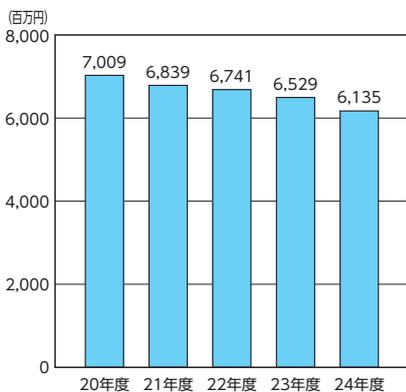
予算総額 3億5,178万円

平成24年度一般会計決算 55億円はどう使われたのか

決算特別委員会では、平成24年度一般会計と国民健康保険、後期高齢者医療、下水道の特別会計の決算について審査を行った。審査は、歳入歳出決算書、主要な施策の成果説明書、事業評価説明書から始まり歳入歳出決算書の決算審査意見書及びその他資料に基づき行った。



地方債残高 (一般会計)



【地方債残高】

平成20年度の基山小学校改築により地方債残高は増加したが、24年度末は20年度末と比べ8億7,332万円減少し、町民1人当たり約35万円の借入金となった。また、平成24年度の元利償還額は9億820万円だったが、そのうち利子支払は1億1,574万円と割合は12.7%と高く、低金利の借り換えによる積極的な繰上償還を要望した。

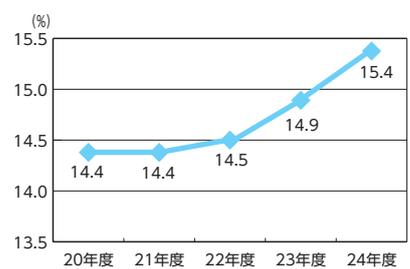
基金残高 (一般会計)



【基金残高】

今後の図書館建設や老朽化した施設の建て替え等も見据えた計画的な基金の積み立てを要望した。

実質公債費比率



【実質公債費比率】

実質公債費比率とはその年の歳出の中で、過去に行った借金の返済にまわっている部分がどの程度の大きさかを見るための指標で、この比率が18%を超えた場合、地方債を発行するためには国の許可が必要になるが、本町は、地方債残高は減少しているにもかかわらず、実質公債費率は上がっており、今後、計画されている図書館等の建設に支障がでないように要望した。

平成24年度主な事務事業の評価説明

子どもの医療費助成事業

医療費助成費 3,723万円
小学校就学前の給付件数が大幅に伸びており、受診のしやすさ、申請手続きの不要などにより、保護者の利便性や経済的負担の軽減に向上が図られた。



基山町保健センター

塵芥不燃物収集運搬業務

業務委託料 9,180万円
ごみの収集・運搬は、住民生活に欠かすことができない業務で、町内全域をA・B2地区に分け、それぞれ違う品目を収集することで比較的円滑な作業ができています。



収集前の朝のごみ置き場

教育委員会主催事業委託料

事業委託料 487万円
より広く多くの方が文化的学習の契機を得られるよう取扱い事業の選定には、住民からの提案も含め調整している。小中合同創作劇「こころつないで」は12万6千円の支出であった。



基山町町民会館

●町民一人に使われたお金 306,825円（一般会計）
※平成25年3月31日現在の人口17,561人で計算

民生費

89,332円

児童、高齢者、障がい者の福祉の推進など



公債費

51,717円

これまでの施設整備などで借りたお金の返済



総務費

44,083円

総務管理、財産管理、地域振興、税務事務など



衛生費

39,231円

ゴミ、し尿の処理や健康増進事業など



土木費

27,082円

道路、公園、公営住宅の整備など



教育費

26,546円

学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進など



消防費

14,417円

消防活動や救急業務など



議会費

6,118円

議員報酬や議会運営など



農林水産業費

3,930円

農業、林業、畜産業などの振興



その他

4,369円

商業、観光の振興および災害復旧など



平成24年度 特別会計決算

	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	20億6,419万円	19億5,998万円	1億 421万円
後期高齢者医療	1億8,946万円	1億8,567万円	378万円
下水道	3億8,796万円	3億7,564万円	1,232万円

基山小学校改築の元利償還始まる

決算特別委員会審査

歳入の状況は怎么样了

問 町税収納は怎么样了

答 町税収納は前年度に比べて9,162万円増で個人住民税3,202万円、法人住民税5,960万円となっており、今後の個人住民税は横ばい状態になる。

問 滞納繰越分は怎么样了

答 佐賀県滞納整理推進機構に加入しており、徴収率が上がっている。滞納者には、現年分から収めてもらい滞納を少なくする方向で行っている。

実質公債費比率は怎么样了

問 平成23年度14.9%から平成24年度15.4%に上がった理由は

答 基山小学校改築の元利償還が始まり、町の借金の指標となる実質公債費比率がピークとなり、3年間は起債の借入れをしなくても高いままの見込みである。図書館等建設の起債により比率は上がるだろうが、健全財政の範囲内である。

学童の交通安全対策は

問 平成24年度に通学路等の危険箇所を確認、点検したのか

答 基山町内全通学路を点検し、危険な16箇所を把握した。そのうち3箇所は平成25年度に歩道帯の着色舗装を行う。

家庭用合併浄化槽設置に対する補助実績は

問 家庭用浄化槽設置に対する補助実績は怎么样了

答 平成24年度は5人槽3件、7人槽17件、10人槽1件である。申請は全て対象となっている。

基幹系情報システム業務委託料が高いが

問 基幹系情報システム業務委託料の金額が高いのはなぜか

答 公正な入札を実施しており、業務委託料は近隣の市町と比較して差はない。

緊急通報システム業務委託

問 福祉施策のひとつとして緊急通報システムとは怎么样了

答 一人暮らしの高齢者等の家に86台を設置し、警報を発すると警備会社に繋がり警備員が自宅に緊急出動するシステムである。

国民健康保険の保険料の今後の見通しは

問 平成23年度、24年度を比較し、国保会計の今後の運営について見通しを怎么样了

答 平成29年度に広域化に移行していく途中段階でタイムラグ(時間差)等もあるので、一概に数字上での判断は難しい。

問 平成24年度当初の短期被保険者証数はどのくらいか

答 短期被保険者証は138世帯286人で、また、資格証は3世帯5人である。

下水道事業公営企業会計移行後の繰入れは

問 現在特別会計として単独では不足しているのが公営企業会計移行後は怎么样了

答 移行後も一般会計から繰入はある。

監査委員の決算審査意見

監査委員 太田 博史
監査委員 河野 保久

一般会計・特別会計

国民健康保険特別会計は保険給付費（医療費の負担）が大きい事で、全国的に財政状況が非常に厳しい状況にあり、佐賀県でも20市町のうち10市町で赤字になっている。

当町では、保険給付費が前年より1億30百万円減ったという事もあり、実質収支で1億4百万円の黒字決算となった。

一般会計は3つの特別会計に繰り入れを行った上で、一般会計自体も実質収入で1億48百万円の黒字決算となった。

財政調整基金を取り崩すこともなく、一般会計と3つの特別会計すべてで黒字決算になったという事は、「実質収支は何が何でも黒字にする。」という「財政運営の基本は確保できた。」と評価できる。

町債残高（借入金）

借入金の残高は毎年順調に減少しており、平成24年度末では61億36百万円で10年前に比べ10億円減少した。これは町長の方針である財政健全化に向かっていけると言える。

1人当たりの借入金金は368千円（平成23年度末）で、県内では6番目

に少ない。全国的に見ても多いとは言えないが、独立採算の民間企業に比べると、まだ倍以上多い。

「安易に借金はしない」のが、財政健全化の鉄則であり、今後も町債の発行は極力抑えて頂きたい。

借入金については、今後の対応を注視していきます。

公有財産の有効利用

公有財産は本来、「住民福祉を実現するための手段」として利用するために所有するもの」とされています。ですから「将来の利用計画のないまま所有し続けるのは、止めるべきだ」と考えます。

財源確保の1つの手段として、「未利用地の売却等の処分」や「公有施設の貸付」についても検討願いたい。民間企業に移転すれば、今までの維持管理費は要らなくなり、固定資産税等も永久的に入ってくる事になる。

補助金の交付

補助金として、1億54百万円交付しているが、交付している多くの団体で「事業の成果」の説明を求めているのが現状です。

補助金は交付することが目的ではありません。その「補助事業は何のために行うのか」「成果は何か」を評価の基本に置かなければ意味がない。そうすることで、手段としての

補助金が有効に機能しているのが分かると思います。

特に永年継続して補助金を交付しているものについては、事業の成果・目的の確認をお願いしたい。

委託料の見直し

平成24年度は委託料として、4億59百万円支払われている。委託料の見直しの結果、「見積内容を厳格に査定することにより、相当のコストダウンになった。」というケースがあった。

次の委託先との契約更新時には契約内容をよく理解し、「仕事の品質確保の上で、どうしてもコストダウンできるか。」を委託先と協働で研究・協議をして頂きたい。

借入金の利子

平成24年度に1億4百万円の町債（借入金）の繰上償還を実施することにより、将来支払う予定の利子21百万円が節約できました。

繰上償還に充てるための減債基金を増額し、更なる繰上償還の実行を検討願いたい。

決算資料の活用

決算の目的は「1年間の行政実績を明確に捉え、予算と対比し、その適否を検討し、将来の財政計画の資料とする。」と考えます。

決算の分析結果を、次年度の予算編成にどう活かしたかを、予算特別委員会で説明することを習慣にすべしと考えます。

複式簿記会計導入の提案

総務省は「民間企業並みの複式簿記を5年以内に完備するよう取り組みをお願いする。」としている。

複式簿記導入のメリットとしては、財政破綻の防止、「コスト意識の向上」、「財政状態の正確な把握」、「住民への説明責任を果たす」等がある。本町の会計制度改革に向けて複式簿記会計の導入を提案します。

※決算審査意見書の全文は情報公開コーナー及び町ホームページに公表しています。



▲意見書を小森町長(左)に手渡す太田監査委員(右)と河野監査委員(中)

新図書館等建設は中央公園内に

総務文教常任委員会

町は図書館等建設検討委員会の答申を受け、2回にわたって町民との意見交換を行い、図書館等の建設予定地を基山小学校前の中央公園に決定した。

委員会審査に町長の出席を求め、図書館建設に対する考えを質した。

新図書館等の基本設計の概要は、建築面積1,100㎡(図書館スペース1,000㎡、歴史資料展示スペース100㎡)、鉄筋コンクリート造、地上1階建。

補正予算として、基本設計費1,334万円(積み上げ方式計算で算出)、土質調査費300万円、設計支援業務



▲現図書館受付付近

費522万円。基本設計業者は、プロポーザル方式で選択し、設計支援業務委託は建設予定地測量、周辺環境調査基本設計成果品のチェックなど。

なお、現時点での建設工事見込額は4億6,200万円となっている。

中学校にスクール・サポーター活動日追加

基山中学校に、4月から配置されていたスクール・サポーターの活動日を当初の100日に63日追加する。このスクール・サポーターは警察OBで、登校時から下校時までの間、校内の見回りや交通安全の指導を行う。

基肄城の歴史をイラスト副読本で学習

基肄城の歴史について、イラストを使い、わかりやすい親しみのもてる副読本を3万部作成する。平成27年度開催の山城サミット、基肄城築城1350年祭などに来場した子どもたちを中心に無料で配付される。

空き家等の適正管理条例、可決

厚生産業常任委員会

継続審査になっていた「空き家等の適正管理条例に関する条例」を一部修正して可決した。

審査の過程で問題になったのが、補助金交付と代執行の2点だった。補助金交付は、町内外を問わず、地方税や国民健康保険税などに滞納がなく、非課税の世帯で基山町内に危険な空き家等を所有する者に対して、撤去費用として、最高50万円を補助する。

代執行は、危険な空き家等に対して撤去の勧告等を行っても履行されない場合、行政が代執行をして、その費用を徴収する手続きだが、県などと協議を行う。

町民等へ周知するために、平成26年1月1日から施行する一部修正をし、可決した。

基山駅前に駐輪場を増設

駅前の混雑緩和と安全対策のために、駅前南側に自転車1000台の駐輪場を新設する。また、北側駐輪場も改修する。

委員会では、駅前ロータリーの改修を含め駅前の整備を要望した。

たんぼぼ保育園の改築

佐賀県の保育所緊急整備事業を活用

大規模な道路改修等は当初予算に計上を要請

開田・小林線の工事は、当初計上されていなかった。大規模な改修工事は当初予算や年次事業計画を計上するよう要望した。

して、定数を40名増の140名にするために改築工事を行う。

補助対象事業は2億2,715万円、佐賀県が4分の2、基山町が4分の1、事業者負担が4分の1。完成は平成26年12月頃。

委員会では、基山町保育行政の全体構想や町立基山保育園の改修計画も策定するように要望した。



▲基山駅前の駐輪場予定地を視察

11人が町政を問う

一般質問

(傍聴者 延べ100人)

一般質問とは、議員が町政について自由に質問をすることをいいます。質問する項目は事前に通告します。基山町議会では、時間内であれば納得がいくまで何度も質問できる「一問一答方式」を採用しています。

本議会の様子はUSTREAM(ユーストリーム)で試験的に配信しています。視聴方法等は町議会ホームページをご覧ください。



町議会ホームページ

<http://www.town.kiyama.lg.jp/site/gikai/>



▲行き止まりのけやき台道路

問 住民の理解は得られたか
答 合意できたとは思っていない



松石 信男 議員

問 けやき台道路開通アンケートを提案

問 町道白坂久保田2号線開通に向けてけやき台住民等の意見交換会が行われ延べ332人の参加があったが、道路改良の目的は何か。
答 基山町総合計画による主要幹線道路白坂久保田2号線の行き止まりの解消である。

問 道路改良のメリット・デメリットは。

答 メリットは災害時に2方向避難ができること。福岡方面の出入りの利便性の向上。団地内の交通量の分散。デメリットは騒音、交通事故の発生に影響が出る。

問 賛成が多数派という見解か。

答 賛成ということもかなりあると思っている。

問 地元の合意なしに建設すべきでない。けやき台住民の民意をつかむために住民アンケートを提案する。

答 意見交換会をしている。大きな問題だ。アンケートなど住民投票にもなると思うが。各区の意見としてアンケートを取られたら思う。

要望 反対、賛成、条件

付き賛成など意見が分かれている。緊急性もないなかで、9月末とも言われる事業の可否を決定するのは無理がある。合意を求めて更なる協議を求める。

小中学校へエアコン設置を

問 今年の夏は35度以上の猛暑日が観測史上最多。熱中症急増、鳥栖市内の小中学校から4人運ばれている。学校現場から「とにかく暑い、熱中症になるのではと心配。近隣の学校(みやき町、神埼市など)では冷房があるが基山小中学校はない。テストは町民会館で行っている」との声がある。

答 子どもは鍛えて頑張り、学習環境の整備のために小中学校へ太陽光発電によるエアコンの設置を提案する。

問 けやき台駅のバリアフリー化は 答 まず協議会を立ち上げる



河野 保久 議員

問 けやき台駅のバリアフリー化の要望を県・JRへ提出してから現在までの経過を示せ。

答 4月5日に提出後5月16日に担当者間で意見交換を行い、7月9日にJR九州本社及び九州運輸局を訪問し、要望内容の詳細を説明した。

問 バリアフリー化を要望として上げた理由は。

答 社会状況が駅のバリアフリー化を支援する方向に向かっていくことと、利用者の大半が高齢化をむかえるので、バリアフリー化が必要と判断したためである。

問 通路までののり面をスロープ化するのは。



▲けやき台駅入口の急な階段

答 現在は駅前広場からすぐ急な階段になっていく。駅前広場からののり面を利用し、なだらかなスロープを新たに設置することである。

問 今後、実現へ向けて、どうしていくつもりか。

答 バリアフリー化に向けた協議会を立ち上げ、平成26年度中に具体的計画をとりまとめる。住民の理解・協力をお願いする。

認知症に対する具体策

問 認知症サポーター講座は順調に推移しているのか。

答 放課後児童クラブの児童を対象にキッズ養成講座を実施。町職員の講座も開催。各区単位の実施や事業所等を対象にした取組みを検討する。

問 「まちでみんなで認知症をつつむ」キャンペーンの具体化は。

答 単独では考えていない。11月11日の介護の日のイベントでの講演会等を考えている。

問 重度な徘徊症状の方へのGPSの実費補助は検討できないか。

答 利用者ニーズ等参考にして検討する。

未整理出土品コンテナをどうするのか

問 屋外保管のコンテナの整理保管をすぐ行え。

答 新図書館完成後、現在の資料館を利用する。

問 国保税の見直しは何年から 答 平成27年度から新しい税率



品川 義則 議員

問 国民健康保険事業は大丈夫か

問 国保事業の運営状況と今後の見直しは。

答 平成20年度に税率を上げて以降、黒字を維持している。今年度は医療費が10%上がっている。このまま推移すれば平成26年度は赤字になるので、平成27年度から新しい税率で行かざるを得ない。

問 医療費抑制を目的にジェネリック医薬品の普及促進をしているが、成果は上がっているのか。

答 使用割合は7月末、医薬品数50%以上、薬剤額35%。月額で薬剤費120万円減、保険給付費100万円減の効果があつた。

問 疾病予防対策の特定健診の受診率の現状と今

移行について、利用者数の現状と施設入所者希望者数は何人。

答 平成25年3月現在施設利用者65人、在宅サービス利用者567人、施設入所希望者は東部老人福祉圏では341人となっている。

認知症施策の取り組み

問 「認知症施策推進5か年計画」の進捗状況は。

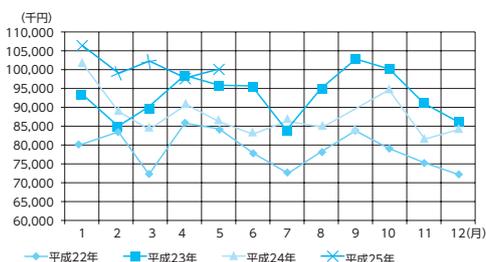
答 町の役割は、地域における認知症の日常生活・家族支援である。具体的には認知症サポーター育成を広域圏組合、地域包括支援センター、キャリアバンメイト等と連携し、サポーター養成講座を実施している。

介護保険政策

問 政府は社会保障・税一体改革、介護分野の方針を「在宅介護・居住系サービス強化」「介護予防・重度化予防」「認知症対応の推進」を掲げた。施設介護から在宅介護の

問 政府は社会保障・税一体改革、介護分野の方針を「在宅介護・居住系サービス強化」「介護予防・重度化予防」「認知症対応の推進」を掲げた。

問 施設介護から在宅介護の



▲国保療養給付費の年度別推移

問 小松地区の土砂災害防止は 答 復旧計画書の作成を指導

木村 照夫 議員



問 搬入土砂の土壌検査及び雨天時流出している表面水の河川水質検査等は実施しているのか。

答 実施していない。今後県と協議しながら当事者に対し、土壌検査・河川水質検査等実施するよう指導する。

問 大量に搬入された土砂が大雨時に崩壊の恐れがある。防災上どう取り

組むのか、今後の対応策を述べよ。

答 県の関係機関と協議しながら、現地測量と対象面積、雨量に応じた沈砂地も含めた復旧計画書の作成をするよう当事者に指導する。

農業の現状と課題

問 総農家・専業別農家数は。

答 2010年農林業センサスの結果では、総農家257戸で販売農家数のうち、専業農家数は19戸で兼業農家は74戸。

問 平成24年度の水田減反実績は。

答 目標転作率39・3%に対し転作実績40・8%で目標より減反率が高い。

要望 非販売農家数も63%で、1戸当たりの作付面積が少ない。転作率を

緩和してほしい。減反オーバー分は加工米、飼料米に転換すべきである。水田に作付けすると耕作放棄地も減少する。

問 県が進めている「食と農の振興計画」の実況と課題は。

答 平成20年度よりマコモタケを19アール生産、販売している。町は県平均よりも第二種兼業農家の占める割合が高く高齢化が進行し、将来的な地域農業の担い手確保が大きな課題。

橋りよの整備は

問 30年以上経過した橋りよはあつたのか。

答 30年以上が43橋、30年未満が21橋、不明が36橋である。

問 点検、整備の実施状況は。

答 平成21年度に管理している全橋（100橋）を目視による点検実施済み。本年度策定する橋梁長寿命化計画に基づき、整備を進めていく。

図書館が庁舎でできない理由と根拠を質す

後藤 信八 議員



問 図書館が庁舎でできない理由と根拠をせよ。

答 第1に事務所としての庁舎は図書館にふさわしい環境と機能がない。第2に現庁舎の床荷重は事務所床の設計であり、図書館の床荷重には不足し利用困難である。この検証は「佐賀県建設技術支援機構」であり、文部科学省の指針を根拠としている。第3に庁舎1階を図書館とした場合、役場の配置や来庁舎の歩行動線、開館時間など行政機能に支障が出ることを考えて庁舎は無理と判断した。

問 建築基準法に基づき荷重を1㎡あたり300キロ以内になるよう開架を工夫すれば、床や地下

の補強なしで可能ではないか。大木町は3段の低開架で既存の福祉施設を図書館にしている。

答 庁舎の総床面積の内、1,260㎡が可能だが、開架を3段などに抑えた場合、図書スペースが不足する。

問 検討委の報告書も外部の検証報告も庁舎の場合のデメリットばかりが強調されている。市民の思いの大きい「広すぎる庁舎の有効活用」や庁舎周辺は年間30万人以上の人が行き来する利便性などのメリットは検証していないのか。

答 かねてから庁舎有効活用の考えを持っていたが、様々な制約があり庁舎は無理と判断した。

問 歴史民俗資料館を庁舎へ

町長は町民との意見

交換会で民俗資料館の庁舎移転にも言及した。思い付きだったのか。

答 思い付きではない。庁舎では歴史資料の管理、保存に問題がある。

問 中央公園案は最大1,100㎡の制約があり、併設すれば、本来の図書館としてのスペースが不足するのではないかと

答 歴史資料の展示コーナー的なものを考えている。収蔵物は今の図書館に保管できる。

要望 図書館併設なら、完成は平成28年3月予定。それまでに基肄城1350年祭もある。貴重な歴史資料が野外に保管されている。庁舎の有効活用の点からも再考を求める。



▲移転が待たれる図書館と野外保管資料



▲大量に搬入された土砂

問 路上駐車への対応は 答 現状調査し指導の方向へ



牧園 綾子 議員

問 自動車の保管場所の確保等に関する法律の違反に該当すると思われる車両がけやき台の外周道路に多く駐車されているが、その車両数の把握をしているか。

答 白坂久保田2号線に夜間駐車されている車両は、10台から15台であり、その半数が常習車両であると思われる。

問 博多駅周辺で道路を有料のスペースとして利用している場所があるが、こういう利用の仕方は基山町でも可能か。

答 交通量が過密で業務目的等やむを得ず短時間で駐車する人への対応で、本町の場合はその目的にあてはまらない。



▲けやき台外周道路の路上駐車

問 北部公園の駐車スペースを公園利用の人の駐車目的とは別に、駐車している車がある状況はどう考えるのか。

答 利用者以外の人や夜間駐車しているのが現状を調査し目的外の駐車に対しては指導していく。

問 町民会館及び体育施設の指定管理者制度

問 施設運営において、指定管理者制度によるメリット・デメリットを具体的に認識しているか。

答 メリットは、民間事業者のノウハウや活力を利用し施設管理における効率化や住民サービスの向上、経費の節減があげられる。デメリットは、指定管理上での手続等に係る事務作業の負担があり、また管理施設に対しての町職員の知識が徐々に希薄になっていく恐れも考えられる。

問 施設の利用料金はこのままか。見直しをするならどのタイミングか。

答 財政課で町有施設全般における使用料等の考え方を検討している。今後、それにより出される使用料手数料見直し基本方針に基づき利用料金を検討していく予定。

問 平成24年度の体育館利用の団体の数と1カ月平均の利用者数は。

答 アリーナで109団体、武道館約25団体。利用者数は、アリーナ5,416人、武道館4,496人。

問 新図書館の完成見込みは 答 28年3月を目指す



重松 一徳 議員

問 一中央公園内に建設を決定」と表明されたが、下校時の図書館利用は。

答 まっすぐ帰宅することを基本的に指導し、下校時の利用は保護者との待ち合わせや緊急時の立ち寄り等を考えている。

問 学校のすぐ前で、下校時に利用したいという意見が出るのでは。

答 授業の一環での利用や、集団での利用は考えられる。

問 財源の見通しは。

答 国庫補助を県と協議している。残りは起債と基金でまかなう。町債償還のピークもすぎ、乗り切れる。

答 充分検討したい。

問 町道延伸で土取りした跡地の有効活用は。

答 工事影響部分のみ掘削して、あとは残す。

要望 駐車場不足の声がある。町道延長予定の右側緑地は土取りして、駐車場整備を要望する。

問 町道延伸の経済的波及効果はあるのか。

答 今後様々な土地有効活用は検討する。

要望 基山町は町道を整備し、団地開発や工場誘致を行い、発展してきた。その前提は相互理解だ。その理解を得る努力を続けてほしい。

町道「白坂久保田2号線」延伸問題

問 けやき台住民の不安を解消する方策は。

答 事故や騒音問題は予想できる事案で、理解頂きたいと思っている。

問 説明不足だ。事故や騒音問題に対しての具体的な解決策を提示すべき。

新図書館等建設工程表(案)

平成25年11月までに	基本構想策定
	基本設計業者選定
平成26年3月までに	基本設計作成
平成26年度に	実施設計をおこなう
その後	建設工事をおこなう
平成28年3月	完成を目指す

問 ホークスファーム誘致可能か 答 現在土地がないため困難

神前 輔行 議員



立候補は困難である。

ソフトバンクホークスファーム誘致

問 立候補するメリットは。

答 誘致すればシーズン中半年程度は、週末に3千人程度の来客は期待できるが、経済効果については現在判断材料はない。青少年の健全育成についてはプロ野球選手が近くにいるわけなので、子どもたちの夢をつなぐには良い機会となる。

問 立候補することは考慮できないか。

答 誘致の条件として、4〜5haのある程度の造成された土地が必要となるが、基山町では現在このような土地がないので

が、国の「認知症施策推進5か年計画」に基づき鳥栖地区広域市町村圏組合と連携し推進に取り組んでいきたい。

問 町営球場、テニスコート、駐車場近隣の土地開発をして誘致できないか。

答 現在のところ難しい。

問 小郡市が立候補予定だが地域連携できないか。また基山町は小郡よりドームに近い、選手療養ができる温泉もある。宿舎だけでも基山町に誘致できないのか。

問 小郡市に話をすることは可能か。

答 認知症の方、家族が安心して暮らせるまちづくり

問 認知症に対する指針を示せ。

答 平成25年3月31日現在で、要介護支援認定者746名中384名。基山町独自の指針はない

問 徘徊、買い物困難であるため地域の見守りが必要である。地域連携の面での取り組み、計画を示せ。

答 認知症の方や家族を支える第1歩は、認知症について理解することだと思ふ。そのためにまず理解者を増やすことが重要と考える。そこで現在実施している認知症サポーター養成講座を今後とも継続して実施し、サポーター数を増やしていかなければならない。



▲認知症サポーターの証

問 資産(施設)管理の方向性は 答 対処法的から計画的に

久保山 義明 議員



問 基山町には39施設147棟のうち30年以上の棟数が45%を超えるが。

答 特定の建物は理解していたが、高度成長期に一気に建てられた結果。

問 施設整備やインフラ整備について各種整備計画はあるのか。

答 具体的に策定している整備計画は、現在のところない。

問 30年以上の建物を一斉に大規模修繕や建て替え、設備機器の更新などした場合、概算でいくらになるのか。

答 現在のところ、把握していない。

問 バラバラの所管が管

理するのではなく、二元的な管理主体が必要。基本方針、除去計画などアセットマネジメントの推進が必要ではないか。

答 長寿命化計画の策定に取り組み始めたばかりで、順序を経て研究したい。

問 基肆城保存整備計画の見直し検討は

問 平成5年に策定された計画は見直すのか。

答 社会的価値観や史跡保存整備に対するニーズ並びに整備手法等はかなり変化してきたため、見直しは必要だと考える。佐賀県・文化庁とともに現在も協議している。

問 構築物等の復元は維持管理等も含め、困難だと思われる。現在のAR

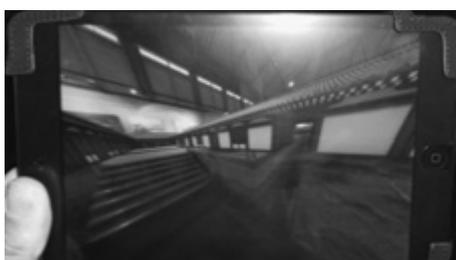
バーチャル技術を駆使した取り組みの検討を。

答 福岡城趾のバーチャル周遊など、町長、教育委員会で視察する。

子ども・子育て関連3法でどう変わる

問 地域子ども・子育て支援事業計画のスケジュールは。

答 ニーズ調査、子ども・子育て会議の設立、支援事業計画の策定など。学童保育は、定数見直しは考えていないが、超過しても受け入れたい。常勤指導員は予定していない。



▲AR技術により浮かび上がる福岡城趾

※AR(オーグメントド・リアリティ)とは、拡張現実とも言われ、人が知覚する現実の環境をコンピュータにより拡張すること。

問 地域ネットワークづくりは 答 まず地域の共通認識をもって



大山 勝代 議員

問 全国的に少子高齢化が進む中、高齢者福祉を行政まかせにせず、地域で出来ることは地域で担う必要がある。それぞれの高齢化率を示せ。

答 左記の表の通り。

問 基山町では最も10区の高齢化率が高い。平成32年は50%を超えらると思う。高齢者世帯や独りぐ

高齢化率—そこに住む人のうち65歳以上の人の割合

	国	佐賀県	基山町	10区
H24 (%)	24.7	25.7	24.4	38.1
順位		26/47	15/20	1/17
H32 (%)	28.5	30.7	33.3	—

らしの人は日々生きるこ
とへの不安を抱えてい
る。それぞれの地域の個
別の課題把握はどうある
べきか。

答 地域の問題点を地域
で検討する体制づくり
と、それを町が把握する
体制づくりや個別のニー
ズ調査を行うことも必要
であると考えます。

問 「まちづくり基本条
例」では第4章の「協働
の仕組み」がある。地域
でのネットワークづくり
をどう進めていけばいい
か示してほしい。

答 まず地域の人たちが
高い高齢化について共通
認識を持つこと。そして
「地域福祉計画」に基づ
いて地域での取り組みを
するときに、行政は「ま
ちづくり基金」で応援す
る。その取り組みはネッ
トワークづくりが必要と

の思いを持った人が率先
して動きだすことから始
まる。

問 その解決のために地
域担当職員とどう連携す
ればいいのか。

答 地域担当職員は各地
区の自治会が地域のまち
づくりを企画するときに
支援を行うもの。地域が
「高齢者が安心してくら
せるまちづくり」を考え
るといふことになれば、
いつでも計画づくりを支
援する。



▲サロン活動 10区の食事づくり

問 学校の多忙化解消策は

答 超勤縮減・年休取得
促進に何ができるか。

答 業務見直し等、引き
続き行うよう指導する。

問 公園茶畑を学習体験に生かせ 答 来年度より各小学校で実施



林 博文 議員

問 基山町総合公園整備
計画は、平成2年より進
められて来たが、今日ま
での事業概要を示せ。

答 事業は、用地取得、
物件補償、公園設計、造
成工事、グラウンド整備
工事、体育館、武道場等
建設関連工事、水辺広場
整備工事等で総額約55億
円の整備となる。

問 菖蒲坂ため池周辺公
園の整備計画の概要は。

答 事業の目的は菖蒲坂
ため池を核とし、芝生広
場、既存の茶畑を生かし

た農業体験の場、利用者
に十分対応できる駐車場
を配置し、町民の世代間
交流及び小学生の学習体
験等である。

問 平成17年度より用地
取得、物件補償等が進め
られ8年が経過している
のに、公園内の既存の茶
畑を茶摘み体験等、実施
をしないのか。

答 学習体験の実施は、
来年5月連休前後より、
茶部会の協力を頂き各小
学校で実施したい。

問 菖蒲坂ため池周辺公
園の今後の整備計画は。
また、完成時期は。

答 今年度が照明灯、施
設整備工事で事業費4千
9百万円、平成26年度が
施設整備工事で事業費2
千6百万円で、平成26年
度完成の予定。

問 駐車場は多目的に使
えるようにして欲しいと
いう多くの町民の意見
だったが、見直しはした
のか。

答 多目的に使えるよう

緑化ブロック等を使用し、
修正を含めて実施する。
荒廃森林再生事業

問 森林環境税を利用し
て、荒廃森林再生事業が
基山町で平成25年度から
29年度まで実施される事
業の内容は。

答 5カ年間で針葉樹と
広葉樹が混じり合った災
害に強い針広混交林に誘
導するため、県が森林所
有者に代わって間伐、整
備を行う事業。

問 この事業の実施はど
のように進めるのか。

答 町内を宮浦地区、小
倉地区、園部地区に分け
森林所有者に対して事業
説明会を行い、協定書を取
りまとめ実施する。



▲活用が待たれる菖蒲坂ため池
周辺公園の茶畑

基山中学校パソコン購入契約、全議員が否決（第2回臨時会）

7月30日、第2回臨時議会が開催された。議案は、基山中学校パソコン教室用パソコン等の取得について「1,344万円の購入額の契約を議会の議決に諮る議案だった。基山町は「予定価格700万円以上の不動産若しくは動産の買入れは議会の議決に付すべき」としている。議会は慎重に審議を行い、以下の点を留意して全議員が否決した。

議案の内容は、現在のパソコンの老朽化等に伴い、新たにパソコン41台とサーバ本体2機、A3カラープリンター1台、学習用ソフトと設置工事等で予定価格1,296万円（消費税含まず）を公募型入札で落札業者との契約について議会の議決を求めるもの。

議会で否決した理由は主に3点

第1点は、予定価格が高すぎるのではないかと議員の質問に対して、専門的パソコンの知識を有する職員がいらない。業者に仕様書を作成してもらい、その業者は入札にも参加している。予定価格は適正と思っている、との回答だった。しかし、仕様書の内容に不明な点も多く、予定価格に多くの疑義があった。第2点は、佐賀県が推進しているICT教育との整合性はどうかとなっているのかとの質問に直接関連はないとの答弁。今後のICT化を見越した機種選定や学習プログラムの要求をした。

第3点は、入札が適正に行われたのかという点。公募型指名競争入札であり



中学校のパソコン教室
平成19年3月に購入したパソコン

ながら、予定価格を下回ったのが、参加業者5社のうち1社で、落札率98%は高いのではという問いに、適正に入札を行ったとの回答だった。参加業者への入札見積りも聞き取りもされておらず、多くの疑義があった。以上の3点を主な理由に、全議員で議案を否決した。その後の、全員協議会で、仕様書の再点検や、パソコン取り扱い地元業者から意見を伺い、来年4月からのパソコン教室用パソコンの取得のための入札を行うことの説明を受けた。

議長交際費の公表（平成25年7月～9月）

支出種別	支出金額(円)	支出の相手方及び行事名等	
会費	6,000	8/10 日韓親善少年柔道大会歓迎レセプション	
賛助	5,000	被爆68周年原水爆禁止世界大会	
合計件数	合計額	累計件数	累計額
2	11,000	4	19,940



▲日韓親善少年柔道大会

平成25年12月基山町議会定例会会期日程(案)

月	日	曜日	議事内容	備考
12	17	火	本会議	全日程傍聴ができます 議場は役場4階です(車椅子席もあります)
12	16	月	委員会	
12	15	日	休会	
12	14	土	休会	
12	13	金	委員会	
12	12	木	本会議	
12	11	水	本会議	
12	10	火	本会議	
12	9	月	本会議	会期決定・提案理由説明等

報告会で質問にお答えした内容

質 問	回 答
一般質問の内容が事前に執行部に聞けば教えられる内容が多い。一般質問しない議員がいたが、個人の事情か。	一般質問は議員の義務ではないので議会として束縛できない。
傍聴者が質問者への拍手やいい、悪いというような発言はできないのか。	傍聴規則ではその行為はヤジ、怒号を認めることになるので認めていない。傍聴規則の見直しはする。
3月議会でオリーブ栽培での農業活性化が提案されたが、委員会は現地視察したのか。	委員会としては視察していない。議員個人としてやっていく。
一般質問での執行部の「検討します」という答えに対しその後フォローがされていない。	「検討します」と答えた内容に対しては全員協議会の中で回答を求めている。
質問に対する答弁の仕方に時間の無駄がある。	以前と比べ、執行部は自席で答えているので、それははないと思う。
図書館建設の説明責任を議会として求めてもらいたい。	議会は図書館建設について政策勉強会をした問題点も町に指摘している。議員個々でなく、まとまって政策協議できればと思っている。
日渡・長野線の延伸計画の最終決定はいつか。	請願に全議員一致で可決したことで、調査費が計上された。提案3案のどれか、今年中に決定したいとの説明を受けている。
「きやまん議会」という名前はいいので、定着させてはどうか。	今回の報告会をアピールするためにつけたもの。正式名称にオーソライズするものではない。
基山町の老人クラブは佐賀県で一番少ない。老人福祉について勉強会を開いて欲しい。	17の区のうち、役員を出すのが難しいという理由で、半分くらいしか加入していないが、現状はサロンなどで活動されている。
町民からの様々な提案に対し、議員も政治家としての決断を下し、動かして頂きたい。	要望としてお聞きした。
役場に行った時の職員の対応が良くない。話をしづらい。	議会から町へ伝える。
子どもたちの通学路なので、川に蓋をしてほしいと要望したが保留のままになっている。	(町の回答) 農業用水路を兼ねており、水利権者の同意等が必要であるため、現時点では、改修は考えていない。しかし、上流側が市街化区域であり、将来宅地開発が見込まれており、現在の水路幅でよいか検討が必要であると考えている。
けやきの剪定は景観も含めて考えて欲しい。	賛否両論があり、対応は難しい。
議会や意見交換会などでの執行部の答弁に知識のなさを感じる。	議会から町に伝える。
子どもへの防犯の対応が各区バラバラなので、全体として考えるべきである。	(町の回答) 自発的に活動をされているので、それぞれの活動を尊重しながら、町全体としてできることがあれば、対応したいと考えている。
区で出前講座を行うが、町長が直接出向く熱意がない。協働の定着に町長が率先を。	(町の回答) 今後、協働のまちづくりがテーマの出前講座には、要請があればできる限り出席したいと考えている。

終了後、アンケートを書いていたいただきましたが、40人に提出いただきました。「良かった」「おおむね良かった」と28人に評価をいただきました。

初めての開催で議会としては全体的に成功だったと感じました。自由記述欄に率直なご意見を書いていただき、ありがとうございます。今後の議会運営に生かしていきます。

今後の課題として

- ・全体的に参加者をどう増やすか。
- ・女性・若い世代に来ていただくためのPRをどうするか。
- ・開催場所、時期、回数など検討する必要がある。
- ・事前にテーマを絞って実施することも検討する。

参加された方、ありがとうございました

きやまん議会と語ろう！ 第1回議会報告会まとめ

7月26日(金)基山町議会として初めての「議会報告会」を町民会館小ホールで開催しました。参加者58人、議員・事務局15人。町民の皆さんにその内容と終了後の感想、今後の課題をご紹介します。



内容

- ・はじめに、議会から「議会の役割と権限」「議会の審議の流れ」「これまでの議会改革の取組み」「常任委員会の所管事務の紹介」「6月議会での主な事案」について報告しました。
- ・後半は延べ11人から質問・意見が出されました。18ページはその要旨と回答です。

議会報告会アンケート集約結果

参加者：58人 アンケート回収数：40 性別：男 27人 女 10人
年代：50代 3人 60代 18人 70代 13人 80代 2人

1 この会の開催は何でお知りになりましたか。

議会だより	広報きやま	ホームページ	回覧板	議員・知人から	その他
13人	10人	1人	6人	23人	2人

2 内容について

良かった	おおむね良かった	ふつう	不満足
10人	18人	4人	0人

3・4・5の質問については記述されたものを抜粋しています。

3 資料、説明のしかた、質疑に対する答え、時間配分など気があればお書きください。

- ・1回目にしては概ね内容も進行も良かった。
- ・説明が早口で聞き取りにくかった。
- ・意見交換の時間が充分とられていて、発言も多く出て良かった。

4 今後も議会報告会を計画していますが、どのような内容を希望されますか。

- ・年に数回継続して開いてほしい。
- ・まず今回出された事からの回答を早く知らせてほしい。
- ・町の課題である人口減対策、高齢者対策、白坂久保田2号線、合併問題。まちづくり等テーマを絞った報告会を。
- ・議会で焦点になっていること、審議内容を報告して頂きたい。

5 本日の感想や議会に対するご意見・ご提言をご記入ください。

- ・第1回の開催ご苦労さまでした。今後も継続されることを期待します。
- ・次回は基山町の将来にあるべき姿を一人ひとり語って貰いたい。
- ・今後休日議会に加えて、子ども議会・夜間議会も検討してほしい。
- ・初めての出席で、住民の考えがいろいろで勉強になった。
- ・図書館建設を早く実行してもらいたい。

※町への意見

- ・「きやまん」のファンです。駅や庁舎に人形があるわけでもないし、ゆるキャラのPRをして。
- ・専門家を呼んで町の職員の勉強会を。
- ・行政に対する不満がある。町政のあり方を検討願いたい。

議会傍聴記

9区 木原 賢治

一般質問を11日に傍聴させて頂きました。議員の方々の熱心な質疑、それに対する執行部の真剣な答弁、双方とも事前に十分な調査と勉強が必要であることを改めて痛感いたしました。

以前にも時々議会傍聴の機会に恵まれて足を運びましたが、あの頃（7年前位）は議場が熱気に満ち、もう少し迫力のある質疑であったような気がします。穏便に和やかな質問、そして答弁、それが決して悪いとは思いませんが、傍聴席にて聞いていますと、ただ淡々として時間が過ぎていくような一面を感じます。国会のようには申しませんが、もう少し威勢よく感情のこもった態度のやりとりの方が見応えのある議会では…。久しぶりの議会傍聴で私の目が少し狂っていたのかもしれない。

今日の傍聴席は10人足らずの人数でしたが、これも少し淋しい気がいたします。基山町発展のため、また住みよい町づくりに議会と行政が一丸となり、毎日頑張っておられる様子を議会の傍聴で1人でも多くの町民に解って貰いたいものです。現在、基山町では「協働の町づくり」、また議会も「開かれた議会」の方針で大勢の町民の傍聴を望まれています。われわれ町民も町の方針に沿って明るく希望に満ちた基山町づくりに、多くの町民が関心を持ち、議会傍聴をすることにより少しでも協働の町づくりに参画することの一環になるのではないのでしょうか。

16区 勝木 博子

東日本大震災より早や2年半、今月は、9・11のテロもあった月です。またシリアの紛争もどうなっていくのか心休まることはなく、こうして日々を心穏やかに過ごすことができるのは、多くの方々により善くと町を思う働きの結果と感謝せずには

られません。

議会ではできるだけ傍聴させて頂きたいと思っておりますが、何せ1人70分。なかなかすべてをというわけにはいきませんが、せめてその空気だけでも感じていたいと思います。7年後の東京オリンピックも決定し、日本といえば「富士山」、中津といえば「からあげ」、熊本といえば「くまモン」。そして、基山と言ったら「〇〇」と誰にでも即答してもらえようなものがあったらと思います。これだけはどこにも負けないと言つものを作りあげていく必要があるのではないのでしょうか。更なる精進をお願いいたします。

最後に傍聴席のあの暑さ何とかなりませんか。

町外 30 歳 男性

縁あってこの3年間ほど基山町議会に足を運んできました。休日議会やインターネットでの録画中継、来場者が傍聴しやすいようにマイクを交換したり、閲覧用の議案書を置いたり…。細かなところまで配慮され、議会改革への熱意を感じる事ができました。

特に印象的だったのは最初に休日議会を実施した2011年12月議会。小学生や若い世代が傍聴席で耳を傾ける光景は新鮮だった。あとは、足を運んでくれた傍聴者が「また来たい」「基山のことをもっと知りたい」と思ってもらうためにどうするか、議会の力量が問われているところだと思う。執行部から明確な答弁がなかった場合に、どう詰めていくか。また、町政に関するわくわくするような提案を議会側からももっと聞きたいところだ。

基山町議会は傍聴者数に関して県内有数の多さである。ただ、数だけではなく、議論の質でも注目を浴びるような議会になってほしい。2年前の休日議会を見た、若い人や親子連れであふれるような光景が当たり前になるように。

編集後記

朝晩の冷え込みから、冬の訪れを感じる季節になりました。

今回の議会だよりは、開かれた議会の取り組みの一環として多くの町民の方々に参加頂いた議会報告会について掲載しました。

京都府で集団登校中の児童の列に乗用車が突っ込む事故が発生しました。これをきっかけに、再び通学路問題が注目されています。全国の公立小学校の通学路には交通安全面対策が必要な危険箇所が約6万箇所あることが分かりました。

基山町でもいつどこで何が起るのかが分からないのが事故です。決して子どもたちの尊い命が危険におかされることのないよう、危険箇所の報告、相談等に対し早急に対応できるまちづくりを行わなければなりません。

(神前)

広報編集委員会

委員長	大山 勝代	委員	木村 照夫
副委員長	牧園 綾子	委員	久保山 義明
委員	重松 一徳	委員	神前 輔行